



2023 第6回  
町民人権講座 (通算158回)



対談

# 私のはなし 部落のはなし

学びほぐす。

丸ごと見つめて

日本の「差別」を



角岡 伸彦  
さん

フリーライター

Nobuhiko  
Kadooka



満若 勇咲  
さん

映画監督

Yusaku  
Mitsuwaka

【日 時】令和5年

11月16日 木

19:00~20:30 (18:30 開場)

町内・町外を問わず  
どなたでもご参加いただけます

【会 場】

美浜町生涯学習センター  
なびあす

※満席の場合は入場をお断りする場合がございますのでご了承ください。

入場無料

(事前申込不要)



人権協  
HPアドレス



角岡 伸彦

フリーライター

1963年、兵庫県加古川市生まれ。

関西学院大学社会学部を卒業後、神戸新聞記者等を経て、フリーライター。満若勇咲監督の映画「にくのひと」「私のはなし 部落のはなし」の制作に協力した。大阪市在住。

◆ 著書

- 『被差別部落の青春』(講談社文庫)、
- 『ホルモン奉行』(解放出版社)、
- 『はじめての部落問題』(文春新書)、
- 『とことん! 部落問題』(講談社)、
- 『ピストルと荊冠 <被差別>と<暴力>で大阪を背負った男・小西邦彦』(講談社)など。



満若 勇咲

映画監督

1986年京都府出身。2005年大阪芸術大学入学。映画監督の原一男が指導する記録映像コースでドキュメンタリー制作を学ぶ。

在学中にドキュメンタリー映画『にくのひと』、『父、好美の人生』(監督・撮影)を制作。『にくのひと』の劇場公開が決まるも、その後封印。映像制作・技術会社ハイクロスシネマトグラフィに参加後、TVドキュメンタリーの撮影を担当する。

2019年からフリーランスとして活動。主な撮影番組に「ジェイクとシャリス～僕は歌姫だった～」(2020/アメリカ国際フィルム・ビデオ祭 ゴールドカメラ賞)、「ETV特集 僕らが自分らしくいられる理由～54色のいろ鉛筆～」(2021)などがある。ドキュメンタリー批評雑誌「f/22」の編集長を務めている。

## 新型コロナウイルス感染症対策について

ご来場の際には、下記の「ご来場の皆様へ」「感染予防措置について」を必ずご確認の上、ご来場いただきますようお願いいたします。  
新型コロナウイルスの感染状況により公演を中止させていただく場合がございます。

### ご来場の皆様へ

- ご来場前に、検温など体調管理のご協力をお願いいたします。発熱、咳などの症状がある場合は、体調を最優先いただき、ご来場をお控えください。
- 手洗いや手指消毒、咳エチケットのご協力をお願いいたします。
- 入退場の際に可能な限り間隔を広くお取りいただき、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。

### 感染予防措置について

- 非接触式体温計での検温を行います。検温の結果37.5度以上の発熱が認められた方は大変申し訳ありませんがご入場をお断りいたします。
- ホール内は常時空調設備を稼働させますが、換気を優先するため十分な空調効果が感じられない場合がございますのでご了承ください。
- ブランケットの貸し出しは中止させていただきます。不安がある方は防寒具をご用意ください。
- 館内設備・備品の消毒・清掃を強化しています。

ご理解とご協力をお願いいたします



体調管理



除菌・消毒



換気



ソーシャル  
ディスタンス

お問い合わせ 美浜町人権尊重啓発協議会事務局 (生涯学習センターなびあす内)

〒919-1141 福井県三方郡美浜町郷市29-3  
E-mail jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

TEL. 0770-32-1212

(8:30~17:15/休館日:月曜日)

### ■ アクセス

【お車ご利用の場合】舞鶴若狭自動車道若狭美浜ICより小浜方面へ約10分。もしくは若狭三方ICより敦賀方面へ約10分。  
なびあす駐車場(無料)をご利用ください。

【電車ご利用の場合】JR小浜線美浜駅より徒歩約10分。

